

# カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2013年 12月 69号



〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5  
JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com  
http://keaf-japan.com

## 前期分の奨学金を支給

初参加の山田さん (会計監査)

紙芝居や絵本で子どもたちと交流

10月の奨学金支給のための現地訪問に、「一度現地を見たい」といっていた山田伸代さん(会計監査)が多忙な日程を繰り合わせて参加してくれました。事務局の久保田信一さんと山田さんは21日(月)出発、27日(日)帰国の日程で4つの高校の奨学生(合計136人)に前期分を、教員養成所学生4人に1年分の奨学金を支給しました。また7つの小中学校に教科書、教材、文房具などの支援品を届けました。

高校生の奨学金は、出発前に日本で1ドル紙幣にして1人分ずつ封筒に入れ、校長先生から毎月手渡して受領サインをもらうようお願いしています。教員養成所学生には1年分を直接渡しました(大学奨学生には6月に支給済み)。

山田さんは東南アジア訪問は初めてで、ちょっと不安もあったそうです。でも持参した紙芝居や絵本をとおして子どもたちと交流したり、高校生と英語で対話したりして、「訪問前には思っても見なかった感動がありました」と以下の訪問記を寄せてくれました。



・プレアンドウン高校の奨学生。山田さんと英語で対話した。



・山田さんと通訳のナットさんの紙芝居に見入る子どもたち。プロモルプロム小学校で。

## 思ってもみなかった感動

子どもたちの成長を切に願う

山田 伸代

日本に親しみを感じてもらうという狙いで、小・中・高校で紙芝居や絵本を紹介した。事前に日本語通訳ガイドのナットさんがクメール語の翻訳をつけ、生徒たちに輪読してもらった。

### 紹介した5つのお話

▽「ごんぎつね」(日本昔ばなし・紙芝居)

▽「だいくとおにろく」(日本の伝統的な美しい絵、日本名作物語の一つ・絵本)

▽「ぐりとぐら」(クメール語を含む世界9カ国語に翻訳された日本の子供が一度は読む・絵本)

▽「あめふり」(毎日雨ばかりふり、怒ったばあちゃんが奇抜な発想で雷たちを困らせる・絵本)

▽「アンパンマン」(自分の頭のパンを困った人に分け与え、悪者と戦う日本の子ども達が大好きな人気キャラクター・絵本)

小学生から「カンボジアにも、赤い顔をした怖い鬼がいるよ」。中・高生から「昔ばなしは、本当にあった話なの」「ごんぎつねは、自分が(2頁に続く)

(1頁からの続き)

いたずらしたことを反省し、つぐないをしたところがいい。

などの質問や、楽しい感想が聞かれた。小学生は目を輝かせ、窓から傍聴する高校生もいた。

### 将来の夢

「外国語が分かると、外国の文化を知ることができ、世界が広がり、楽しみが増える。ぜひ外国語に興味を持ち、将来への仕事や活動の幅を広げてほしい」。

こう話すと「日本に行きたいけどどうすれば行けるか」という中学生からの素朴な質問や、「英語の次に日本語を勉強したい」と高校生からの嬉しい発言があった。

女生徒にエールを送った。「女性は人口の半分。家庭に入っても勉強を続け、いつかまたぜひ自分を活かし、地域やカンボジアの力になってほしい」というと、KEAF 奨学金をもらっている教員養成所の女子学生から「この地域には字も読めない子どもがいる。地域の教育レベルの向上や、ひいては社会貢献できるように、小学校の先生になりたいと思っている」と力強い答えが返ってきた。

プレアンドゥン高校の奨学生にも将来の夢を聞いた。

「物理の知識を活かせる仕事に就きたい」(男)「銀行に勤めたい」(女)「歴史の教師になりたい」(女)「弁護士になりたい」(男)という返事。英語の話せる生徒もいて対話が弾んだ。「外国語や基本分野の勉強は、将来どの分野へ進むにも必要な知識であり、しっかりと勉強を続けてほしい」と話した。

### 日本について

日本について知っていることは、工業技術が高く品質もいい、経済が発展している、時間を守る国民性、観光地がきれい、地震が多いなど。水田はカンボジアと同じかと聞かれた。

「みなさんのご支援を得て両親や学校の期待に応えたい」「貯金をあてて支援してくださり、感謝している」「大切に生活費や教材に役立たせている」など心からのお礼の言葉があったことを支援者の皆さんにお伝えしたい。

### 将来へ期待

子ども達の素直な応答から、やさしさや健康的なたくましが伝わってきて、こちらの方が元気をもらった。いろいろなハードルを乗り越え、今後たくましく育てほしいと願う。KEAF 支援の学校から、将来カンボジアのリーダーになるような人材が現れるならば、どれだけいいだろうと、願いとともに期待がふくらむ。帰国後、自分自身の意識の持ち方が少し変わった気がしている。

## 「日本の遊び」に大喜び

### じゃんけん、けん玉、折り紙・・・

11月15日(金)から22日(金)まで養護施設と小学校各1、高・中学校3の計5カ所で3回目の「子どもの遊び教室」を開催、どこでも教室があふれるほど生徒たちが集まり、大喜びしてくれた。初めの2日は「水祭り」の休日だったが、参加生徒は全部で500人を超えた。講師は2011年の第1回教室に次いで2回目の足立伸之さん(ユウカリ福祉会保育園保育士)。



・女生徒に囲まれた足立さん(後方)。プレアンドゥン高校で。

足立さんがじゃんけんゲームなどで雰囲気を和らげてから、日本の四季の自然を紹介するスライドを映し、けん玉や折り紙を教えて一緒に遊ぶというプログラム。1回目は小学校、2回目は中学校を対象にしたが、今回は中学校を併設している高校にも足を伸ばしてみた。結果は高校3年生が多数参加して、まだ子どもっぽい中学生と同じ様に楽しんでた。

けん玉コンテストは大人気で、女生徒も夢中。すぐにうまくなる子もいた。だが女生徒が楽しんだのはやはり折り紙。小生(同行の金子)が折ってあげた折り鶴を大事そうに持って帰った生徒が何人もいた。

乾季と雨期の2つの季節しか知らないカンボジアの子どもたちにとって、四季ごとに変化する日本の景色は興味深かったようだ。日本の狭い山間の斜面を有効利用する「棚田」をみて、広大な田んぼを見慣れた子どもたちは感心していた。「ホー」というお驚きの声があがったのは冬景色だった。足立さんが「カキ氷がどかどかと降ってくるんですよ」と説明した。

足立さんがネットから撮った大震災の大津波の映像も紹介した。生徒だけでなく先生たちにもだまりこくって凝視するばかりで、大きな衝撃を受けていた。(足立さんの現地訪問記は次号に掲載します)。



# ありがとうございました (2013年9月1日～2013年11月8日)

年会費、寄付金、奨学金をお振込頂きました方々に心からお礼申し上げます (敬称略させていただきます)

(長野)	(東京)	(神奈川)	(神奈川)	(京都)	(宮崎)
(東京)	(千葉)	(奈良)	(埼玉)	(奈良)	(東京)
(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
(東京)	(東京)	(滋賀)	(東京)	(京都)	(東京)
(千葉)	(長野)	(東京)	(神奈川)	(神奈川)	
(神奈川)	(熊本)	(神奈川)	(東京)	(東京)	

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています ※写真つき奨学生紹介の3、4、5、6、7頁は個人情報保護のため省略

## 《カンボジア教育支援基金総会》

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) の第15回総会を以下の日程で開催します。会員および支援者のみなさんの多数のご出席をお願いします。

日時：2014年2月16日 (日)

総会は例年10～11月に開いてきました。今期は10月の奨学金支給の現地訪問に続いて11月に「子どもの遊び教室」を実施、12月に「サッカー教室」を予定しているので開催がずれ込みました。

会場：JICA 地球ひろば 会議室

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

電話 03-3269-2911

JR 中央・総武線市ヶ谷駅から徒歩10分

東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅A

1番/4番出口から徒歩10分、同有楽町線・南北線

市ヶ谷駅6番出口から徒歩8分

議題：2013年度 (012.9～13.8) 活動報告、決算報告

2014年度 (013.9～14.8) 活動方針、予算

## 《支援の品々、ありがとうございました》

▽新品デジカメとカバン多数：若林之矩様 (神奈川)

▽大小カバン多数：

(東京)、(長野)、(東京)



▪折り紙に一生懸命のプレアンドウン高校女生徒



・プレイヴェン養護園に教材や文房具など支援品を届けた



・養護園校長先生 (中央) も加わってけん玉コンスト